

# 男女共同参画行動計画白山21（改定版）の 平成26年度事業実施状況について（概要）

## 1. 基本目標 I 家庭・職場・地域において男女が共に

### 個性と能力を発揮できる社会の実現

- ▶課題1 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）
- ▶課題2 雇用の場における男女の均等な機会と待遇の確保
- ▶課題3 人々が安心して暮らせる環境の整備
- ▶課題4 地域における男女共同参画の推進

#### （1）平成26年度事業実施状況について

家庭生活における男女の役割分担意識の見直しのため、市民を対象とした男女共同参画サポーター養成講座を開催し、サポーターとして20名を認定した。また、「職場から考えるワーク・ライフ・バランス」をテーマに講演会とシンポジウムを開催し、男女が共に個性と能力を発揮できる社会づくりの意識の醸成及び市民と連携し、活動ができる体制づくりに努めた。

男性の家事・育児への参加促進を啓発として、県内で初めて、父親向けの「父子手帳」を作成し、母子手帳と合わせて交付した。

子育てを支える環境の充実としては、引き続き病児保育事業、一時保育事業を実施するなど保育サービスの充実に努めたうえ、児童館、児童センターの利活用の促進を図り、地域における子育てを支援した。

介護を支える環境の充実として、平成26年4月から福祉ふれあいセンターに専属の介護相談員を配置し、平成26年度は394件の相談があった。

雇用の場における男女の均等な機会と待遇の確保については、平成26年度から「仕事と生活が調和する優良事業所」の表彰制度を開始し、雇用環境の整備に積極的に取り組む市内6事業者を表彰した。

人々が安心して暮らせる環境の整備として、平成26年11月から認知症について誰もが気軽に話せる場として、認知症カフェ（オレンジカフェ）を毎月19日に福祉ふれあいセンターに設置するなど、認知症支援策の充実に努めたうえ、在宅サービスの充実に努めるため、介護相談員の派遣などを積極的に行った。

地域における男女共同参画の推進として、公民館における女性の自己啓発講座の開催のほか、防災に関する女性のリーダー育成として、女性4名が自主防災組織リーダー（防災士）養成講座を受講した。

## 2. 基本目標 II 男女共同参画社会づくりに向けた意識の改革

- ▶課題5 男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し、意識改革
- ▶課題6 男女共同参画の視点に立った教育・学習の充実

### (1) 平成26年度事業実施状況について

男女共同参画の視点に立った意識改革、周知及び市刊行物の点検のため、平成25年度に作成した「男女共同参画の視点からの刊行物ガイドライン」による職員研修会や町内会、公民館への配布及び市HPへの掲示を行った。

また、鳥越中学校において3年生を対象に男女共同参画をテーマとした討論会を開催し、学校教育における男女平等教育を推進した。

## 3. 基本目標 III 方針の立案・決定過程への女性の参画の拡大

- ▶課題7 方針の立案・決定過程への女性の参画の拡大と人材育成

### (1) 平成26年度事業実施状況について

方針の立案・決定の過程への女性参画の拡大のため、市の審議会等の女性委員の登用率の目標を40%としているが、平成26年度の女性委員登用率は29.1%（対前年比+0.6%）であった。

また、女性グループの活動支援として、石川県主催の「いしかわ女性のチャレンジ賞」に、鶴来商工会女性部を推薦し、受賞された。

## 4. 基本目標 IV 男女の人権の尊重

- ▶課題8 女性に対するあらゆる暴力の根絶
- ▶課題9 生涯を通じた女性の健康支援

### (1) 平成26年度事業実施状況について

夫・パートナーからの暴力への対策推進として、相談体制の充実を図り、平成26年度からDVホットライン、女性なんでも相談の開設時間を9時～17時へ拡大した。

また、平成26年度にDV対応システムを構築し、平成27年4月からシステムを本稼働することで、庁内連携による被害者支援の推進を図る。